

商工業・労働・観光・交通の概要



鯖 江 市

令和3年8月現在

目 次

1	概 要	
	(1)人口推移	1
	(2)産業別就業者数	2
	(3)産業別事業所・従業者数の推移	2
2	商 業	
	(1)商業の状況	3
	(2)大型店の状況	4
	(3)商業集積地区別集計	5
	(4)県内小売店の状況	5
3	工 業	
	(1)市内工業の状況	6
	(2)県内の状況	7
	(3)眼 鏡	8
	(4)織 維	9
	(5)漆 器	10
	(6)市内推定輸出額	10
4	労 働	
	(1)労働力状況	11
	(2)労働力の流出入	11
	(3)有効求人倍率の推移	11
	(4)ワーク・ライフ・バランス推進事業	12
5	融 資	
	(1)企業向け融資制度	12
	(2)個人向け融資制度	13
	(3)保証料・利子補給制度	13
6	補助金	
	(1)企業向け補助制度	14
	(2)補助実績額	15
7	企業誘致	
	(1)企業立地助成金制度	15
8	観 光	
	(1)観光客入込状況	16
	(2)さばえつつじまつり来場者数	16
	(3)福井県主要観光地入込状況	16
9	公共交通	
	(1)福鉄電車福武線乗降客数	17
	(2)JR西日本1日平均乗降客数	17
	(3)コミュニティバス路線別利用者数	17
	(4)福井鉄道バス路線	17
	(5)自動車保有車両数	17
10	所管施設利用者	18

1 概 要

鯖江市は福井県のほぼ中央にあり、北は福井市、南は越前市に隣接した東西約 19.2 km、南北約 8.3 km、面積 84.59 k㎡の市域で、市の中央部を低い丘陵地帯が南北にのび、これに沿って市街地が広がっている。また J R 北陸本線、私鉄福武線、国道 417 号が市街地を南北に縦貫し、昭和 58 年 11 月北陸自動車道鯖江 I.C が開設、平成 7 年 3 月には、国道 8 号の 4 車線化が実施されるなど交通網の充実が図られている。

昭和 30 年の市制施行時 4 万の人口が、都市基盤整備による都市の近代化に加え、地場産業の発展や企業誘致、集団化の実現など商工業の充実により現在では人口約 6 万 9 千人の都市へと躍進している。

鯖江市は平成 27 年 3 月に第 5 次鯖江市総合計画（計画期間：平成 22 年度～26 年度）の改訂版を策定し、「鯖江ブランドづくり」、「人の増えるまちづくり」の 2 つを重点施策として、市民との協働および各種業界団体との連携のもと「自信と誇りの持てる自主自立のまち」の実現に取り組んでいる。平成 27 年 10 月には、人口、経済、地域社会の課題に一体的に取り組むため、「鯖江市人口ビジョン」（対象期間：平成 27 年度から 45 年間）と「第 1 期鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（計画期間：平成 27 年度～31 年度）を策定。平成 29 年 3 月には、計画期間を終える「鯖江市総合計画」および「鯖江市行財政構造改革アクションプログラム」を総合戦略に統合するために一部改定。令和 2 年 3 月には、第 1 期総合戦略の課題を踏まえ、新たなステップに向けて取り組む「第 2 期鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（計画期間：令和 2 年度～6 年度）を策定。「世界のめがねの聖地 SABA E の確立」を新たなコンセプトに、「魅力ある雇用の創出」、「若者が住みたくなるまちの創造」、「若くて元気なまちの創造」、「安心して快適に暮らせるまちの創造」の 4 つの基本目標と SDG s の推進をはじめとする 4 つの重点施策を定めた。

また、「SDG s」の推進については、平成 29 年 5 月から取組みをはじめている。令和 2 年 7 月には、国から「SDG s 未来都市」に選定され、令和 2 年 9 月には、眼鏡会館に「SDG s 推進センター」を開設する中、本市の地域特性を活かして「ジェンダー平等の実現」「女性活躍の推進」を軸に、持続可能な「めがねのまちさばえ」の実現に取り組んでいる。

(1) 人口推移

(基準日：10 月 1 日)

年	世帯数	人口（人）		
		男	女	計
S40	10,928	24,313	26,345	50,658
S45	12,125	25,831	27,205	53,036
S50	13,782	28,462	29,507	57,969
S55	14,687	29,714	30,725	60,439
S60	15,396	30,408	31,694	62,102
H2	16,851	30,753	32,269	63,022
H7	17,831	31,281	32,876	64,157
H10	18,637	31,840	33,324	65,164
H15	20,411	32,750	34,498	67,248
H20	21,912	33,302	35,379	68,681
H21	22,005	33,312	35,381	68,693
H22	22,087	33,209	35,415	68,624
H23	22,288	33,330	35,447	68,777
H24	22,309	33,400	35,523	68,923
H25	22,574	33,464	35,510	68,974
H26	22,769	33,482	35,459	68,941
H27	23,144	33,585	35,452	69,037
H28	23,547	33,665	35,528	69,193
H29	23,921	33,695	35,558	69,253
H30	24,272	33,791	35,643	69,434
R1	23,522	33,752	35,547	69,299
R2	24,889	33,824	35,489	69,313

(2) 産業別就業者数

(国勢調査)

項目	年次	H17 (B)	H22	H27 (A)	構成比 (%)			(A/B)×100 (%)
					H17	H22	H27	
第1次産業		627	580	622	1.8	1.7	1.8	99.2
農業		615	519	587	1.7	1.5	1.7	95.4
林業・漁業		12	61	35	0.1	0.2	0.1	291.7
第2次産業		15,562	13,625	13,630	44.4	40.5	39.0	87.6
鉱業		2	4	4	0	0	0	200.0
建設業		2,718	2,320	2,181	7.7	6.9	6.2	80.2
製造業		12,842	11,301	11,445	36.7	33.6	32.8	89.1
第3次産業		18,794	18,968	19,721	53.6	56.4	56.5	104.9
電気・ガス業		110	109	123	0.3	0.3	0.4	111.8
運輸・通信業		1,569	1,717	1,687	4.5	5.1	4.8	107.5
卸売・小売業		5,636	5,220	5,016	16.1	15.5	14.4	89.0
金融・保険・不動産業		911	1,056	1,076	2.6	3.1	3.1	118.1
飲食店・宿泊業		1,154	1,359	1,346	3.3	4.0	3.9	116.6
サービス業		8,521	8,568	9,474	24.3	25.5	27.1	111.2
公務		893	939	999	2.5	2.8	2.9	111.9
分類不能産業		61	484	946	0.2	1.4	2.7	1550.8
就業人口計 (人)		35,044	33,657	34,919	100	100	100	99.6
総人口 (人)		66,831	67,450	68,284				102.2
就業率 (%)		52.44	49.90	51.14				

※日本標準産業分類改定 (H14.3) に伴い、H17 より国勢調査における産業分類の区分が変更となった。

(3) 産業別事業所・従業者数の推移

区分	事業所数			従業者数			
	年	H24	H26	H28	H24	H26	H28
全産業		3,545	3,643	3,520	29,461	31,595	29,663
第1次産業		14	14	15	120	150	177
農林漁業		14	14	15	120	150	177
第2次産業		1,391	1,361	1,321	12,492	12,374	12,169
鉱業、採石業、砂利採取業		—	—	—	—	—	—
建設業		285	271	265	1,543	1,582	1,510
製造業		1,106	1,090	1,056	10,949	10,792	10,659
第3次産業		2,140	2,268	2,184	16,849	19,071	17,317
電気・ガス・熱供給・水道業		—	2	—	—	24	—
情報通信業		16	17	17	264	238	265
運輸業、郵便業		48	51	48	792	727	677
卸売業、小売業		800	797	797	5,990	5,827	5,638
金融業、保険業		64	50	51	781	601	650
不動産業、物品賃貸業		86	81	74	224	346	243
学術研究、専門・技術サービス		100	92	89	438	408	397
宿泊業、飲食サービス業		330	342	338	2,594	2,753	2,542
生活関連サービス業、娯楽業		280	289	296	1,172	1,089	1,069
教育、学習支援業		82	127	85	452	1,318	490
医療、福祉		166	213	195	3,299	3,887	3,700
複合サービス事業		15	25	24	91	380	557
サービス業		153	163	170	752	873	1,089
公務 (他に分類されるものを除く)		—	19	—	—	600	—

H24:経済センサス活動調査 [調査期日:平成24年2月1日]

H26:経済センサス基礎調査 [調査期日:平成26年7月1日]

H28:経済センサス活動調査 [調査期日:平成28年6月1日]

※経済センサス活動調査において公務については調査を行っていない

2 商 業

本市の商業は、江戸時代から城下町、門前町として栄えた鯖江地区と、明治以降鯖江第 36 連隊の街として変貌した神明地区を核として発達してきた。

しかしながら、戦後になると福井・武生に隣接している地理的条件に加え、モータリゼーションの普及、市内商店・商店街の近代化の遅れにより、購買力の市外流出が顕著となり、本市商業の地盤低下がみられるようになった。

昭和 40 年代後半に入ると、市は区画整理事業により市街地周辺部に住宅地や工業団地などの新市街地の骨格を完成し、これに次いで中心部繁華街の近代化を急ぐべく、都市計画に基づく道路拡幅事業および旧国鉄鯖江駅舎の改築に呼応する駅前地区再開発事業に着手した。

そのような状況のなか、昭和 50 年代に神明ショッピングセンター、鯖江ショッピングセンター、長崎屋が次々とオープンし、本市は県内でも有数の大型店集中地域となるに至った。

これに対し、既存商店街については、市が積極的な振興策を講じ、アーケード・街路灯・カラー舗装等の整備を行い、周辺の商店も改装や新築が相つぎそれまでの面目を一新した。

しかし、消費の市外流出にこれで完全に歯止めがかかったわけではなく、個々の商店では淘汰現象が現れ、市内の商店数も市街地を中心に減少していた。

さらに、幹線道路の整備は、アル・プラザ鯖江や東部ショッピングモールなどの郊外大型店等の国道 8 号沿線への進出に拍車をかけ、新たな商業圏を形成している。一方で、ワイプラザ鯖江店の中心市街地近郊への進出や平成 24 年 11 月には商店街の中心部にあった食品スーパーの閉店等より一層厳しい状況になっており、市商業界、特に商店街は顧客を呼び戻すための魅力ある経営が必要とされている。

このような中で、平成 19 年に中心市街地活性化計画として「鯖江街なか賑わいプラン」を策定し、平成 20 年から 5 年間にわたり住民・事業者・学生・商工会議所・行政等が一体協働し、ソフト事業を中心とした具体的で実効性のある街づくりを目指してきた。さらに、より一層の地域コミュニティづくりを目的に、「賑わい」「憩い」「癒し」にあふれる地域の特性を活かし、協働して取り組む改訂版（2013-2015）を策定するとともに、平成 25 年度からの 3 ヶ年事業として「福井県おもてなし商業エリア創出プラン（ソフト）」、平成 28 年度からの 3 ヶ年事業として「福井県おもてなし商業創出プラン（ハード整備等）」の 2 つの認定を受け、個店の魅力を高める事業に取り組んできた。

現在は、商店街の集客力向上を目的とし、商店街内の街路灯を LED 化する事業や、空き店舗を地域交流拠点として改修する事業など、ソフト、ハードの両面にわたる支援策を行っている。

(1) 商業の状況

項目	区分 年次	商店数			従業者数 (人)			年間販売額 (百万円)		
		H24	H26	H28	H24	H26	H28	H24	H26	H28
卸 売 業		166	183	178	1,431	1,502	1,486	53,311	43,935	57,280
小 売 業		468	474	503	3,102	2,964	3,331	50,808	50,916	57,999
各種商品		2	×	2	205	×	198	×	×	×
織物衣服 身のまわり品		72	87	79	225	271	270	2,866	3,260	3,492
飲食料品		145	145	154	1,175	1,222	1,271	17,013	18,060	22,395
自動車・自転車		38	38	45	229	215	247	5,726	5,431	6,652
家具・じゅう器・ 機器具		46	37	45	154	138	157	1,898	2,740	2,357
無店舗小売業		23	21	22	185	146	228	3,898	2,854	×
そ の 他		142	145	156	929	780	960	12,908	×	13,713
合 計		634	657	681	4,533	4,466	4,817	104,119	94,851	115,279

H24：経済センサス活動調査〔調査期日：平成 24 年 2 月 1 日〕

H26：商業統計調査〔調査期日：平成 26 年 7 月 1 日〕×は数値秘匿

H28：経済センサス活動調査〔調査期日：平成 28 年 6 月 1 日〕×は数値秘匿

(2) 大型店の状況

(店舗面積 1,000 m²以上)

名 称	店舗面積 (m ²)	開店日	取扱商品	備考
丸正鯖江店	1,056	S48.10	衣料品	
バロー東鯖江店	1,825	H 6.11	食料品	
アル・プラザ鯖江	14,540	H 8. 6	衣食住各種商品	
鯖江東部ショッピングモール	2,400	H 8.11	書籍・衣料品	
県民せいきょうハーツさばえ	1,903	H 9. 9	食料品・日用雑貨	
コメリホームセンター鯖江店	6,416	H15. 8	日用雑貨	
ゲンキー東鯖江店	3,570	H15.10	薬・食料品	
パワーシティ・さばえ	8,840	H16. 5	衣食住各種商品	
鯖江ファッションモール	2,140	H16. 6	衣料品	
Big Belly Market 北野店	1,549	H20. 7	食料品	
バロー神明店	3,141	H21. 5	食料品・日用雑貨	
Aコープ東さばえ店	1,070	H23.11	食料品・日用雑貨	
Aコープさばえ店	1,026	H25. 3	食料品・日用雑貨	
ゲンキー鯖江北野店	2,718	H25. 5	医薬品・化粧品・日用品	
ゲンキー鯖江西店	1,484	H26. 2	医薬品・化粧品・日用品	
ヤササキグルメ館東鯖江店	2,900	H28. 6	食料品・日用雑貨	
クスリのアオキ小黒店	1,576	H28.12	医薬品・化粧品・日用品	
県民せいきょうハーツ神中	2,038	H30. 7	食料品・日用雑貨	
ドラッグコスモス鯖江小黒店	1,674	R 1.10	医薬品・化粧品・日用品	
文明堂書店 TSUTAYA 神明店	1,495	R 2. 6	書籍	小売面積の拡充
アルビス鯖江鳥羽店 ウエルシア鯖江鳥羽店	2,687	R 2.11	食料品・日用雑貨	
クスリのアオキ鯖江丸山店	1,473	R 2.11	医薬品・化粧品・日用品	
クスリのアオキ舟津店	1,353	R 3. 8	医薬品・化粧品・日用品	
ドラッグコスモス丸山店	1,545	R 3.11	医薬品・化粧品・日用品	※見込み
ウエルシア鯖江上河端町店	2,048	R 3.12	医薬品・化粧品・日用品	※見込み

(大規模小売店舗立地法 平成12年6月施行)

(3) 商業集積地区別集計

区分 年次 商業集積地区名	商店数			従業者数 (人)			年間販売額 (万円)			売場面積 (㎡)		
	H16	H19	H26	H16	H19	H26	H16	H19	H26	H16	H19	H26
寺町・ 公園口商店街	22	19	15	74	53	64	121,500	71,520	62,730	1,318	1,363	574
古町商店街	20	19	22	107	113	91	117,600	107,878	64,190	1,553	1,647	831
本町商店街	25	21	16	61	51	41	55,600	35,409	24,394	1,907	1,415	1,093
鯖江駅前商店街	22	19	14	89	60	55	118,500	94,216	81,950	1,800	1,477	1,364
神明駅付近	33	30	20	89	81	44	63,000	52,984	38,350	1,569	1,448	872
西鯖江駅前	16	13	11	52	44	36	51,700	82,553	26,990	592	477	244
三六町付近	30	25	24	156	122	110	205,600	168,220	200,394	2,017	1,537	1,620
柳町商店街	24	20	13	85	72	55	185,100	174,587	46,900	2,174	2,030	756

H16, H19, H26 商業統計調査 [調査期日：H16年, H19年は6月1日、H26年は7月1日] / 鯖江市独自集計

※上記商業集積地区は、調査区ベースでの集計のため、実際の商店街加盟店等とは異なる。(回答があった事業所のみ集計)

(4) 県内小売店の状況

区分 年次 市名等	店舗数			従業者数 (人)			年間販売額 (百万円)			売場面積 (㎡)		
	H24	H26	H28	H24	H26	H28	H24	H26	H28	H24	H26	H28
福井市	2,427	2,358	2,488	15,508	16,607	17,400	298,620	317,608	371,293	427,339	442,817	427,996
敦賀市	517	537	583	3,580	3,771	3,918	70,049	73,755	80,978	89,721	90,549	83,709
越前市	737	705	738	4,192	4,064	4,364	70,679	73,432	81,115	129,988	127,471	118,056
小浜市	330	289	315	1,752	1,721	2,006	29,449	29,087	35,043	33,166	38,921	42,046
大野市	349	312	330	1,723	1,561	1,735	28,743	31,445	28,443	53,639	51,892	40,824
勝山市	232	211	212	1,069	1,007	1,064	16,893	15,292	16,311	27,055	25,583	19,392
鯖江市	468	474	503	3,102	2,964	3,331	50,808	50,916	57,999	85,317	81,048	76,276
あま市	219	219	221	1,032	1,145	1,158	15,382	17,240	16,481	30,760	27,618	19,436
坂井市	653	620	655	3,725	4,029	4,307	73,341	66,260	77,067	115,255	115,435	99,113
市計	5,932	5,725	6,045	35,683	36,869	39,283	653,964	675,036	764,730	992,240	1,001,334	926,848
町村計	839	776	788	3,734	3,637	3,576	52,723	54,696	56,318	103,176	91,463	80,322
合計	6,771	6,501	6,833	39,417	40,506	42,859	706,687	729,732	821,047	1,095,416	1,092,797	1,007,170

H24: 経済センサス活動調査 [調査期日：平成24年2月1日]

H26: 経済センサス基礎調査 [調査期日：平成26年7月1日]

H28: 経済センサス活動調査 [調査期日：平成28年6月1日]

3 工 業

本市工業は、隣接地域を含めた市域で眼鏡枠の国内生産の約80%を占める眼鏡、繊維王国福井の中核を担ってきた繊維、1500年の伝統を継承しつつ、業務用漆器においても8割のシェアをもつ漆器の三大地場産業を中心として発展してきた。昭和30年代以降は東部工業団地や機械工業団地など市街地周辺にも近代的な工業地域が形成され、機械・電子部品工業など新たな産業が進出している。

市製造品出荷額等の約6割を三大地場産業で占めていること、事業所のほとんどが中小および零細企業であることなどが、本市工業の特徴的な点である。

「ものづくり」の技術に支えられた本市工業の更なる発展のためには、新技術・新製品の開発、それらを支える人材の育成、これまでに培ってきた技術に裏打ちされた異分野への進出、海外市場など新規市場の開拓が不可欠である。

今後は、それらに加え、市内産業への波及効果の高い企業等の誘致、新技術開発のための産学官の連携、起業者の創出や地域ブランドの確立など、時代に柔軟に対応が求められている。

その推進に向けては、国、県との連携はもちろんのこと、産地が一丸となった産業界主導の取り組みが必要である。

【工業統計調査について】

平成21年までは、西暦末尾0・3・5・8の年は「全数調査年」、それ以外の年は従業員4人以上の事業所を調査対象（裾切り調査）として実施。

平成22年は西暦末尾が0の年であるが、裾切り調査として実施し、平成23年は経済センサス活動調査の（全数調査、5年ごとに実施）の中で必要事項を把握した。

平成24年は裾切り調査として実施した。

- ・製造品出荷額等には加工賃を含む。
- ・粗付加価値額＝製造品出荷額等－（原材料使用額等＋内国消費税額）
- ×は秘匿数

(1) 市内工業の状況

①従業員4人以上の事業所

業種	区分 年次	事業所数			従業員数(人)			年間製造品出荷額等(万円)			粗付加価値額(万円)		
		H29	H30	R1	H29	H30	R1	H29	H30	R1	H29	H30	R1
食料品		7	7	7	129	122	124	150,160	116,328	106,965	86,586	55,084	54,246
飲料・飼料		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
繊維		61	60	59	2,033	1,994	2,019	4,262,290	4,165,141	4,455,884	1,671,826	1,676,553	1,797,241
木材		4	4	4	102	107	109	135,278	139,247	157,556	90,025	84,375	94,813
家具		2	3	3	32	41	42	×	47,099	50,395	×	24,939	28,540
パルプ・紙		3	2	2	66	64	66	110,602	×	×	39,613	×	×
印刷		12	11	11	187	187	203	322,032	387,182	423,879	143,100	157,213	173,901
化学		6	4	3	168	108	103	1,526,247	639,242	689,834	474,927	274,172	154,227
石油・石炭		1	1	1	5	5	5	×	×	×	×	×	×
プラスチック		16	16	16	469	464	458	1,283,491	1,579,172	1,391,539	447,793	497,082	445,860
ゴム		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
窯業・土石		4	5	5	111	125	134	243,318	360,232	455,925	43,113	127,822	194,303
鉄鋼		3	3	3	37	36	37	64,127	×	×	39,821	×	×
非鉄金属		2	-	2	46	-	43	×	-	×	×	-	×
金属		18	19	19	686	723	715	1,237,034	1,298,354	1,339,143	509,036	627,832	642,992
はん用機械		2	2	2	21	19	31	×	×	×	×	×	×
生産用機械		23	25	27	357	391	429	712,660	854,050	1,026,790	366,880	352,482	430,147
業務用機械		3	3	3	154	152	153	208,854	208,798	243,813	116,491	123,227	133,883
電子・デバイス		4	3	4	821	706	877	1,591,225	1,853,000	1,859,618	872,614	884,399	892,391
電気機械		3	3	3	33	33	31	51,615	57,799	62,323	25,072	27,932	28,058
情報通信機械		-	1	1	-	5	5	-	×	×	-	×	×
輸送機械		1	1	1	5	12	14	×	×	×	×	×	×
その他		186	179	172	3,877	3,778	3,942	6,055,495	5,778,034	5,799,968	2,548,183	2,728,297	2,788,961
合計		361	352	348	9,299	9,072	9,540	18,077,508	17,716,069	18,544,882	7,540,526	7,754,340	8,001,595

H29, H30, R1：工業統計調査〔調査期日：各年6月1日〕

②全事業所

業種	区分 年次	事業所数			従業者数(人)			年間製造品出荷額等(万円)			粗付加価値額(万円)		
		H20	H23	H28	H20	H23	H28	H20	H23	H28	H20	H23	H28
食料品		14	14	14	103	133	132	76,685	84,555	160,803	35,372	30,781	-
飲料・飼料		1	2	2	×	×	7	×	×	×	×	×	-
繊維		125	106	95	2,294	2,128	2,026	4,643,303	4,053,911	4,254,625	1,866,627	1,649,339	-
木材		33	29	24	129	120	150	75,922	88,481	117,326	41,551	46,515	-
家具		20	17	17	55	32	66	34,958	17,092	87,082	10,315	9,146	-
パルプ・紙		9	8	10	74	72	88	117,674	74,692	131,327	54,858	32,899	-
印刷		41	24	20	237	173	180	253,641	210,364	299,458	123,233	105,641	-
化学		8	9	9	173	203	205	×	1,270,089	1,060,292	×	30	-
石油・石炭		1	1	1	×	×	6	×	×	×	×	×	-
プラスチック		48	31	32	499	452	494	1,006,920	1,967,315	1,189,244	373,746	1,326,668	-
ゴム		-	1	-	-	×	-	-	×	-	-	×	-
窯業・土石		23	12	5	130	79	21	188,040	239,460	87,879	45,739	53,772	-
鉄鋼		6	9	5	57	79	40	×	117,957	×	×	79,401	-
非鉄金属		-	3	4	-	6	11	-	6,410	10,112	-	5,188	-
金属		50	44	48	974	729	702	1,652,781	1,026,197	1,178,755	832,015	322,504	-
はん用機械		9	7	6	104	44	42	×	59,582	50,592	×	34,371	-
生産用機械		53	50	48	343	396	406	552,685	628,708	726,295	289,681	303,538	-
業務用機械		2	2	3	×	×	160	×	×	219,431	×	×	-
電子・デバイス		6	4	7	968	967	782	×	928,918	2,013,311	×	597,580	-
電気機械		6	9	8	46	65	40	×	61,120	58,600	×	30,358	-
情報通信機械		1	1	-	×	×	-	×	×	-	×	×	-
輸送機械		1	1	3	×	×	23	×	×	14,676	×	×	-
その他		656	624	600	5,052	4,263	4,223	6,769,757	4,757,128	5,338,042	3,103,129	2,340,336	-
合計		1,113	1,008	961	11,319	10,016	9,804	18,441,840	15,717,822	17,105,360	7,652,802	7,012,886	-

H20：工業統計調査〔調査期日：各年12月31日〕、H23：経済センサス活動調査〔調査期日：平成24年2月1日〕
H28：経済センサス活動調査〔調査期日：平成28年6月1日〕※粗付加価値額集計なし

(2) 県内の状況

①従業者4人以上の事業所

市別 年次	区分 年次	事業所数			従業者数(人)			年間製造品出荷額等(万円)			粗付加価値額(万円)		
		H29	H30	R1	H29	H30	R1	H29	H30	R1	H29	H30	R1
福井市		589	578	561	17,460	17,516	17,791	41,228,687	42,709,238	47,031,742	17,556,227	17,969,675	20,461,302
敦賀市		78	77	75	3,811	3,658	3,507	12,551,759	11,770,705	11,862,783	3,778,768	3,430,027	3,268,508
小浜市		69	63	64	1,667	1,668	1,667	3,151,794	3,173,113	3,380,997	1,069,419	912,670	1,257,542
大野市		84	81	81	2,423	2,478	2,501	5,527,088	5,582,399	6,467,559	1,890,083	1,901,663	2,416,949
勝山市		75	71	70	2,482	2,393	2,398	8,906,968	6,490,378	6,926,734	4,879,780	2,873,024	3,215,984
鯖江市		361	352	348	9,299	9,072	9,540	18,077,508	17,716,069	18,544,882	7,540,526	7,754,340	8,001,595
あわら市		73	80	79	4,656	4,469	4,441	18,914,402	19,737,108	19,569,663	9,124,289	8,536,053	7,783,102
越前市		299	295	292	15,946	16,562	16,730	53,566,505	61,390,340	66,568,700	21,900,148	23,843,478	25,401,171
坂井市		329	322	321	9,396	9,612	9,814	29,697,786	29,226,214	30,894,754	10,311,060	9,546,612	8,458,046
合計		1,957	1,919	1,891	67,140	67,428	68,389	191,623,497	197,795,564	211,247,814	78,050,300	76,767,542	80,264,199

H29, H30, R1：工業統計調査〔調査期日：各年6月1日〕

②全事業所

市別 年次	区分 年次	事業所数			従業者数(人)			年間製造品出荷額等(万円)			粗付加価値額(万円)		
		H20	H23	H28	H20	H23	H28	H20	H23	H28	H20	H23	H28
福井市		1,266	1,223	1,201	19,062	18,096	19,035	42,742,854	43,290,136	41,188,843	18,346,798	23,857,584	-
敦賀市		177	158	136	4,760	4,141	3,425	12,420,979	12,519,980	10,654,778	2,598,991	4,252,409	-
小浜市		178	153	145	2,360	2,195	1,765	4,998,993	4,822,000	3,581,135	1,783,633	1,561,974	-
大野市		232	179	193	2,738	2,181	2,627	5,494,837	4,536,704	5,187,519	1,824,400	1,505,462	-
勝山市		179	153	145	2,866	2,653	2,562	12,056,970	15,001,048	6,630,392	5,606,699	4,999,911	-
鯖江市		1,113	1,008	961	11,319	10,016	9,804	18,441,840	15,717,822	17,105,360	7,652,802	7,012,886	-
あわら市		175	156	133	3,707	3,551	4,636	14,102,658	13,176,317	19,666,635	6,679,840	6,333,340	-
越前市		786	705	625	15,668	14,968	16,091	47,855,601	41,837,352	56,830,286	20,401,779	16,866,073	-
坂井市		685	621	584	11,115	10,368	10,319	38,748,111	31,500,432	31,634,840	9,779,746	10,578,114	-
合計		4,791	4,356	4,123	73,595	68,169	70,264	196,862,843	182,401,791	192,479,788	74,674,688	76,967,753	-

H20：工業統計調査〔調査期日：各年12月31日〕、H23：経済センサス活動調査〔調査期日：平成24年2月1日〕
H28：経済センサス活動調査〔調査期日：平成28年6月1日〕※粗付加価値額集計なし

(3) 眼鏡

フレームを中心とする本市の眼鏡製造は、1905年に農閑期工業として導入された。産地として大きく成長したのは、昭和30年代以降。戦後の高度経済成長により眼鏡の需要も急増したことから、産地企業は製造の自動化等により生産効率を追求するとともに、品質向上と技術開発に力を注いできた。その結果、1980年代には世界で初めてチタン金属による眼鏡フレームの製造技術の確立に成功。その後もチタン合金等の新素材開発に代表される品質重視の「ものづくり」に取り組んできた結果、眼鏡枠で、国内の約9割の生産シェアを持つまでに成長した。今や高品質産地として、デザイン力とブランド力を持つイタリアと、低コストでの大量生産を得意とする中国とともに、世界的産地の一角を担っている。その一方で、バブル経済崩壊以降の国内不況に加え、低コストで大量生産が可能な東アジア地域の台頭などで産地は大変厳しい状況に置かれている。そのため、世界最大級の眼鏡見本市ミド展（伊・ミラノ）をはじめとする国際見本市に積極的に出展することで、海外製品には真似できない日本製品を全世界にアピールしている。また「作るだけの産地から」「作って売る産地」の実現に向けて（一社）福井県眼鏡協会は、平成22年3月にめがね産地のシンボルである「めがね会館」のリニューアルを実施。同施設は、産地鯖江で製造されたメガネ等の購入ができるメガネショップをはじめ、産地の歴史的資料を展示するメガネミュージアム、眼鏡の手作り体験が可能な工房などの機能を備えており、国内唯一の眼鏡産地の産業観光の拠点施設として、年々その認知度が高まっている。

① 眼鏡関係製造品別内訳【従業者4人以上の事業所】

製造品	区分 年次	事業所数			従業者数(人)			製造品出荷額等(万円)		
		H29	H30	R1	H29	H30	R1	H29	H30	R1
眼鏡、眼鏡枠、眼鏡レンズ (コンタクトレンズを含む)、眼鏡の部分品、眼鏡 (賃加工)の合計		195	185	176	3,436	3,320	3,539	5,070,846	5,287,362	5,266,913

H29, H30, R1 : 工業統計調査 [調査期日: 各年6月1日] / R3 集計方法変更

② 眼鏡関係製造品別内訳【全事業所】

種別	区分 年次	事業所数				従業者数(人)				製造品出荷額等(万円)			
		H20	H23	H28	増減数 H28-H23	H20	H23	H28	増減数 H28-H23	H20	H23	H28	増減数 H28-H23
完成品製造業		108	130	96	▲34	2,203	2,341	2,239	▲102	3,898,185	3,348,752	4,728,817	1,380,065
主に金属枠製造		71	83	63	▲20	1,944	2,096	1,969	▲127	3,553,911	3,033,369	4,367,129	1,333,760
主にプラ枠製造		27	42	29	▲13	211	228	258	30	252,597	265,691	346,460	80,769
主にコンタクト眼鏡製造		10	5	4	▲1	48	17	12	▲5	91,677	49,692	15,228	▲34,464
部品製造業		69	68	65	▲3	814	495	785	290	833,672	502,877	1,074,552	571,675
丁番・ネジ製造業		5	20	10	▲10	162	130	220	90	137,629	118,810	270,450	151,640
その他の部品製造業		64	48	55	7	652	365	565	200	696,043	384,067	804,102	420,035
中間加工業		314	283	254	▲29	1,568	1,335	1,311	▲24	1,306,109	1,071,713	1,135,350	63,637
ロー付け加工		64	53	39	▲14	247	179	150	▲29	100,923	76,600	67,732	▲8,868
研磨加工		80	72	75	3	208	174	192	18	84,703	64,978	75,066	10,088
メッキ加工		12	12	15	3	444	406	424	18	741,603	502,136	627,466	125,330
塗装・七宝加工		54	63	49	▲14	290	312	328	16	188,338	288,946	248,014	▲40,932
組立加工		39	52	49	▲3	126	156	131	▲25	63,936	63,276	55,503	▲7,773
その他の中間加工業		65	31	27	▲4	253	108	86	▲22	126,606	75,777	61,569	▲14,208
機械製造業		15	21	18	▲3	103	117	106	▲11	125,404	142,541	144,486	1,927
レンズ製造業(加業含む)		25	17	20	3	620	197	362	165	1,450,189	332,232	676,828	344,596
合計		531	519	453	▲66	5,308	4,485	4,803	318	7,613,559	5,398,115	7,760,015	2,361,900

H20: 工業統計調査 [調査期日: 平成20年12月31日] / 鯖江市独自集計, H23: 経済センサス活動調査 [調査期日: 平成24年2月1日] / 鯖江市独自集計
H28: 経済センサス活動調査 [調査期日: 平成28年6月1日] / 鯖江市独自集計

(4) 織 維

明治20年代に輸出羽二重の生産をはじめたのが鯖江の繊維産業の始まりで、以来繊維王国といわれた福井県の中でも常に中心的地位を占め、市の基幹産業として発展してきた。

近年は、中国を筆頭とする東アジア諸国の急成長によるグローバル大競争時代への突入と円高や世界に類を見ない少子・高齢化の進行による国内労働力の逼迫化と社会の成熟化に伴う消費者のライフスタイルの変化、等々歴史的環境変化の中、これまでにない厳しい局面に立たされている。

このような中であって、鯖江市には、原糸メーカーをはじめ、多種多様な織物工場や染色加工工場のほかアパレル業まで、およそ繊維に関する業態が殆どそろっており、この特性を生かし他産地との優位性を積極的に活用するためファッションショー開催や新製品開発など、常に繊維産地としての活性化に前向きに取り組んでいる。

平成12年7月には、製造業から小売業までを包括した全国でも珍しい体制である鯖江市繊維協会が設立された。さらに、平成13年12月には鯖江市繊維協会にて「鯖江繊維産業ビジョン2001」が策定され、このビジョンに基づき、今後一層厳しさを増すと予想される環境の中で、世界の繊維産地をリードする産地への脱皮を図り、産地の活性化に向けて努力している。

また、平成21年4月に繊維王国福井のルーツともいわれる石田縞の伝統技術を伝える「石田縞手織りセンター」が繊維会館1階に開設された。その後、平成22年7月に織機を10台に増やし、場所も3階に移してのリニューアルが行われ、地場産業のものづくり教育や産業観光の拠点となっている。

①繊維関係製造品別内訳【従業者4人以上の事業所】

製造品	区分 年次	事業所数			従業者数(人)			製造品出荷額等(万円)		
		H29	H30	R1	H29	H30	R1	H29	H30	R1
繊維・衣服・化学繊維の合計		61	60	59	1,999	1,994	2,019	4,262,290	4,165,141	4,455,884

H29, H30, R1 : 工業統計調査 [調査期日: 各年6月1日]

②繊維関係製造品別内訳【全事業所】

区分 製造品	年次	事業所数			従業者数(人)			製造品出荷額等(万円)		
		H20	H23	H28	H20	H23	H28	H20	H23	H28
化学繊維		4	6	3	279	301	288	908,842	754,974	742,583
ねん糸(かさ高加工糸を除く)		9	6	5	38	41	46	18,959	24,680	18,951
かさ高加工糸		1	2	2	×	×	65	×	×	110,764
綿・スフ織物		4	4	5	50	9	11	92,246	5,073	4,360
絹・人絹織物		44	30	24	356	281	246	346,521	310,286	331,019
麻織物		1	-	-	×	-	-	×	-	-
毛織物		-	-	1	-	-	2	-	-	960
細幅織物		12	10	5	64	97	73	103,956	123,357	100,301
その他の織物(幅13cm以上)		-	-	1	-	-	1	-	-	100
丸編ニット生地		1	1	1	×	×	2	×	×	1,165
たて編ニット生地		5	4	4	143	71	107	292,845	130,791	150,559
絹・人絹織物機械染色		7	6	7	823	585	695	1,663,520	1,426,153	1,839,822
綿状繊維・糸染色整理		2	1	1	×	×	21	×	×	21,600
ニット・レース染色整理		1	1	1	×	×	28	×	×	70,867
繊維雑品染色整理		1	2	3	×	×	49	×	×	38,654
網地(漁網を除く)		2	2	3	×	×	9	×	×	15,118
レース		6	5	2	45	32	18	51,387	36,532	32,880
組ひも		1	-	-	×	-	-	×	-	-
上塗りした織物・防水した織物		1	1	-	×	×	-	×	×	-
その他の繊維粗製品		7	5	4	79	34	24	207,614	29,248	21,051
織物製成人女子・少女服(不織布製及びレース製を含む)		1	-	1	×	-	11	×	-	82,391
織物製事務用・作業用・衛生用・スポーツ用衣服・学校服(不織布製及びレース製を含む)		1	3	2	×	16	6	×	6,544	3,902
ニット製外衣(アウターシャツ類、セーター類などを除く)		1	-	-	×	-	-	×	-	-
ニット製アウターシャツ類		1	2	3	×	×	23	×	×	7,447
その他の外衣・シャツ		5	3	7	100	62	108	330,002	219,874	219,789
スカーフ・マフラー・ハンカチーフ		-	-	1	-	-	6	-	-	10,880
和装製品(足袋を含む)		1	1	-	×	×	-	×	×	-
他に分類されない衣服・繊維製身の回り品		1	-	-	×	-	-	×	-	-
寝具		1	1	1	×	×	8	×	×	2,657
帆布製品		-	-	2	-	-	122	-	-	409,602
刺しゅう		1	2	6	×	×	57	×	×	17,203
他に分類されない繊維製品		3	2	-	28	×	-	9,678	×	-
合 計		125	100	95	2,294	1,879	2,026	4,643,303	3,656,318	4,254,625

H20: 工業統計調査 [調査期日: 平成20年12月31日]、H23: 経済センサス活動調査 [調査期日: 平成24年2月1日]
H28: 経済センサス活動調査 [調査期日: 平成28年6月1日]

(5) 漆 器

鯖江市の東部、河和田地区を中心として生産されている越前漆器は、約1500年の伝統をくみ、その優雅さと堅牢さは全国でも有名で、国の伝統的工芸品の指定を受けている。業務用漆器を中心にこれまで着実な生産高の伸びを示してきたが、近年の経済のグローバル化による輸入製品の増加や消費者のライフスタイルの変化等々歴史的な環境変化の中、これまでにない厳しい局面に立たされている。

こうした状況の中で、平成14年度には、越前漆器協同組合を中心に経営意識の改革を全面に打ち出した「越前漆器産業ビジョン2003」を策定した。現在は、このビジョンに基づき、木製漆器、樹脂製漆器ともに、下地から加飾までの様々な工程が確立されている全国的にも稀な産地として、その特色を最大限に生かした活性化策に取り組んでおり、時代のニーズに適応した新製品の開発が進められるとともに、産業観光として産地内の販売店や職人工房による一般消費者の受入れ事業や、伝統工芸士を中心として各イベントに積極的に参加し、蒔絵、沈金等の実演、体験学習を通しての産地、製品のPRを実施し需要開拓に努めている。

また、平成17年度には、越前漆器伝統産業会館がリニューアルオープンした。伝統技法の伝承のみならず、新技術、素材の開発や環境配慮型、高いデザイン性を持った市場創造型の新製品研究など、拠点としての機能や産地としての情報発信に努めている。また、平成21年度から産地の越前漆器協同組合が、越前漆器伝統産業会館の指定管理者としてミュージアムショップや漆器体験を充実させ観光客の誘致により一層取り組んでおり、産業観光拠点施設として展開されていくことが期待される。

越前漆器協同組合が国・県・市の助成を受け製作した「越前塗山車」と山車会館が平成24年度に完成。現在までに小型山車、ミニチュア山車、花笠山車の4種を製作し、漆塗りの新たな分野の作業受託に繋がっている。

また産地の新たな試みとして平成27年度から京都美術工芸大学などを運営する二本松学院と連携し、学生向けの産地見学会やインターンシップを行うなど、後継者育成の取り組みを行っている。

さらに平成28年度から、漆器を含む漆文化全体でのユネスコ無形文化遺産登録を目指した活動を行っている。

①漆器関係製造品別内訳【従業者4人以上の事業所】

製造品	区分 年次	事業所数			従業者数(人)			製造品出荷額等(万円)		
		H29	H30	R1	H29	H30	R1	H29	H30	R1
漆器、プラスチック製日用雑貨・食卓用品、他に分類されない木製品の合計		42	42	41	429	444	435	463,635	449,156	456,623

H29, H30, R1 : 工業統計調査 [調査期日: 各年6月1日]

②漆器関係製造品別内訳【全事業所】

製造品	区分 年次	事業所数			従業者数(人)			製造品出荷額等(万円)		
		H20	H23	H28	H20	H23	H28	H20	H23	H28
漆 器		188	188	183	541	542	559	280,605	283,400	338,341
プラスチック製日用雑貨・食卓用品		22	8	12	96	64	78	131,183	76,645	80,609
他に分類されない木製品		22	22	16	103	107	120	61,922	83,755	88,209
合 計		232	218	211	740	713	757	473,710	443,800	507,159

H20 : 工業統計調査 [調査期日: 平成20年12月31日]、H23 : 経済センサス活動調査 [調査期日: 平成24年2月1日]

H28 : 経済センサス活動調査 [調査期日: 平成28年6月1日]

(6) 市内推定輸出額

(万円)

種別	(A) 県 推定輸出額	(B) 県 出荷額等	(C) 市 出荷額等	(D) 出荷額比率 (C) / (B)	(E) 市 推定輸出額 (A) × (D)	市 輸出比率 (E) / (C)
製造品						
眼鏡類	2,165,574	5,985,449	4,789,216	80.01%	1,732,676	36.18%
繊維品	4,204,276	25,877,572	4,254,625	16.44%	691,183	16.25%
上記外の製造品	12,028,240	175,998,159	8,061,519	4.58%	550,893	6.83%
合計	18,398,090	207,861,180	17,105,360	8.23%	1,514,163	8.85%

(A) は、「平成28年福井県の貿易」より、(B)・(C) は、「平成28年経済センサス活動調査 [調査期日: 平成28年6月1日] 特産工業品目統計表」より

4 労働

(1) 労働力状況

(平成 27 年国勢調査)

種別 性別	労働力人口 (15 才以上)						
	就業者					完全失業者	計
	主に仕事	家事の ほか仕事	通学のかた わら仕事	休業者	計		
男	18,047	449	101	180	18,777	670	19,447
女	12,201	3,474	108	359	16,142	382	16,524
計	30,248	3,923	209	539	34,919	1,052	35,971
(%)	(84.09%)	(10.91%)	(0.58%)	(1.50%)	(97.08%)	(2.92%)	(100.00%)

(2) 労働力の流出入

(平成 27 年国勢調査)

種別 性別	市内居住者							市外居住者		
	市内従業			市外従業			合計	市内従業		
	自宅	自宅外	計	県内へ	県外へ	計		県内から	県外から	計
男	2,456	6,783	9,239	8,945	593	9,538	18,777	6,305	122	6,427
女	1,917	7,770	9,687	6,175	280	6,455	16,142	5,070	10	5,080
計	4,373	14,553	18,926	15,120	873	15,993	34,919	11,375	132	11,507
(%)	(12.52%)	(41.68%)	(54.20%)	(43.30%)	(2.50%)	(45.80%)	(100%)	(98.85%)	(1.15%)	(100%)

(3) 有効求人倍率 (常用) の推移 (求人数/求職数)

(武生公共職業安定所管内)

月 年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H26	1.41	1.35	1.28	1.15	1.11	1.14	1.24	1.36	1.40	1.43	1.55	1.80
H27	1.72	1.60	1.45	1.28	1.24	1.19	1.25	1.35	1.34	1.38	1.49	1.55
H28	1.54	1.59	1.48	1.32	1.27	1.30	1.33	1.44	1.56	1.59	1.79	1.92
H29	1.93	1.87	1.83	1.66	1.69	1.70	1.84	1.86	1.79	1.82	1.93	2.17
H30	2.11	2.17	2.02	1.79	1.80	1.94	1.85	1.89	1.88	1.93	2.00	2.07
R1	2.13	2.13	1.90	1.66	1.54	1.54	1.55	1.51	1.52	1.52	1.57	1.81
R2	1.74	1.66	1.49	1.48	1.31	1.11	1.08	1.02	1.06	1.14	1.22	1.43
R3	1.48	1.51	1.52	1.46	1.41	1.56						

(4) ワーク・ライフ・バランス推進事業

労働者が安心して子どもを生み育てることができる職場環境の創出を図るため、育児休業期間中の代替要員に要した賃金総額の一部を助成

区分	助成年度	件数	助成金(千円)	概要
育児休業代替要員確保支援助成金	H30	0	0	国の制度である「中小企業両立支援助成金(代替要員確保コース)」の支給決定があった事業主が、育児休業期間中の代替要員(鯖江市民に限る)に要した賃金総額の一部を助成(育児休業取得者1人につき15万円)
	R1	2	300	
	R2	0	0	
育児短時間勤務支援事業助成金	H30	3	300	従業員に就業規則等で制度化した育児短時間勤務制度を、連続して1か月以上利用させた市内の中小企業事業主に10万円助成する(同年度内1回限り)
	R1	2	200	
	R2	2	200	
介護短時間勤務等支援事業助成金	H30	1	100	従業員に就業規則等で制度化した介護短時間勤務制度または介護休業制度を、2週間以上利用させた市内の中小企業事業主に10万円助成する(同年度内1回限り)
	R1	0	0	
	R2	0	0	
多様な働き方導入推進事業補助金	-	-	-	在宅勤務(テレワーク)や時短勤務に加え、女性社員が働き続けやすい環境整備の一部を助成(1事業所当たり50万円)
	-	-	-	
	R2	1	500	

5 融 資

(1) 企業向け融資制度

① 中小企業振興資金

市内に住所を有し、1年以上継続して事業を営んでいる中小企業者を対象とした融資

② 小規模企業者特別資金

市内に事業所を有し、1年以上継続して事業を営んでいる小規模企業者を対象とした融資

③ 開業支援資金

市内で2ヶ月以内に開業しようとする個人または法人で開業に向けた具体的計画を有する者または市内で開業して1年未満の個人または法人を対象とした融資

④ 企業立地促進資金

市内に主たる事業所を有している中小企業者または市内で新たに事業を開始することが確実な中小企業者を対象とした融資

⑤ 組合事業開発振興資金

中小企業等協同組合法、中小企業団体の組織に関する法律および商店街振興組合法に基づく市内の組合を対象とした融資

種別	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	件数	融資額(千円)	件数	融資額(千円)	件数	融資額(千円)
中小企業振興資金	80	455,422	91	496,650	26	177,885
小規模企業者特別資金	81	381,165	55	281,690	20	78,700
開業支援資金	0	0	0	0	1	2,710
企業立地促進資金	0	0	0	0	0	0
組合事業開発振興資金	0	0	0	0	0	0

⑥ 中小企業資金等預託金

資金区分	預託方法(協調率)	R1市預託金(千円)	R2市預託金(千円)
中小企業振興資金	残高預託(1:3)	551,203	484,482
小規模企業者特別資金			
開業支援資金			
組合事業開発振興資金	残高預託(1:4)	0	0
企業立地促進資金	残高預託(1:3)	13,754	11,255

(2) 個人向け融資制度

① 勤労者生活安定資金

市内に住所を有する勤労者（企業等に勤務し、賃金、給料等で生計を維持している労働者）を対象とした融資

区分	H30		R1		R2	
	件数	融資額 (千円)	件数	融資額 (千円)	件数	融資額 (千円)
勤労者生活安定資金	60	52,890	41	35,480	30	24,380

② 労働者等融資利子等補給事業費

1 未組織勤労者信用保証料補給金	3 件	10 千円
2 離職者支援生活資金利子補給金	0 件	0 千円
3 育児・介護休業生活資金利子補給金	0 件	0 千円

③ 労働者生活安定資金等預託金

区 分	勤労者生活安定資金	労働者信用基金協会
R1 預託金(千円)	48,041	17,800
R2 預託金(千円)	34,413	17,800

(3) 保証料・利子補給制度

① 保証料補給 中小企業振興資金 保証料の1/2を補給
小規模企業者特別資金 保証料全額を補給

② 利子補給 中小企業振興資金 融資実行日から1年間に限り、500万円を限度に貸出利率の1%相当額を補給
小規模企業者特別資金 融資実行日から3年間に限り、500万円を限度に貸出利率の1%相当額を補給
マル経資金 実行日から1年間に限り、500万円を限度に支払利子の1%相当額を補給

種別 年	保証料補給 (中小企業振興資金等)		利子補給					
	件数	補給額 (千円)	中小企業振興資金		小規模企業者特別資金		マル経資金	
			件数	補給額 (千円)	件数	補給額 (千円)	件数	補給額 (千円)
H28	160	15,025	277	12,377	302	4,939	94	902
H29	107	9,061	206	3,457	239	3,228	91	719
H30	99	11,849	154	2,612	224	3,253	60	431
R1	88	8,123	160	2,150	213	3,859	65	393
R2	49	5,190	117	1,857	194	3,192	46	333

県経営安定資金新型コロナウイルス対策分 融資実行日から3年間に限り全額利子補給

種別 年	利子補給	
	県経営安定資金新型コロナウイルス対策分	
	件数	補給額 (千円)
R2	166	35,862

6 補助金

(1) 企業向け補助制度（令和2年度）※（）の数字は令和元年度分対象経費における補助額の割合

種別	補助制度名	補助限度額※
販路拡大 (成長分野枠)	①産地リーダー企業販路開拓支援事業補助金 ※中止	上限 250 万円 (2/3)
販路拡大 (一般枠)	②海外市場販路開拓支援事業補助金 ※中止	上限 50 万円 (1/2)
	③異分野見本市等出展支援事業補助金 ※中止	上限 50 万円 (1/2)
	④地域産業販路拡大支援事業補助金 【廃止】	上限 50 万円 (1/2)
	⑤市場調査支援事業補助金 ※中止	上限 5 万円 (1/2)
	⑥ふるさと企業の展示会出展支援補助金	上限 20 万円 (1/1)
人材育成	⑦地域産業人材育成支援事業補助金	上限 10 万円 (1/2)
	⑧女性活躍推進事業補助金 【廃止】	上限 50 万円 (3/4)
	⑨未来の伝統工芸士育成支援事業補助金	上限 30 万円
	⑩未来の伝統工芸士育成支援事業奨励金	20 万円
起業・創業または 工場の新設・増設	⑪起業・創業促進支援事業奨励金	10 万円
	⑫起業家（IT 等）市内定着促進事業補助金	1 年目 5 万円/月 (1/2) 2 年目 2.5 万円/月 (1/2)
	⑬創業スタートアップ支援事業補助金	上限 20 万円 (2/3) かつ借入額
	⑭小規模製造業設備投資補助金	上限 50 万円 (1/10) かつ借入額 (1/10)
	⑮女性起業応援事業奨励金	5 万円
新製品・新技術開発	⑯産学官連携促進支援事業補助金	上限 30 万円 (1/2)
	⑰成長分野新技術開発支援補助金 【廃止】	上限 500 万円 (2/3)
	⑱チャレンジ企業応援補助金（新製品・新技術開発事業）※中止	2 年間で 300 万円 1 年目 200 万円 (2/3)
	⑲チャレンジ企業応援補助金（新事業創出・業種転換事業）※中止	2 年間で 300 万円 1 年目 200 万円 (2/3)
	⑳チャレンジ企業応援補助金（知的財産権取得事業）	特許・実用新案10万円 (1/2) 意匠・商標登録5万円 (1/2)
商業者支援	㉑眼鏡産直ショップ開設促進事業補助金 ※中止	1 年目 300 万円 (1/5) 2 年目 200 万円 (1/2) 3 年目 100 万円 (1/2)
	㉒めがねのまちさばえ応援商品開発支援事業補助金	上限 15 万円 (1/2)
新型コロナウイルス対策	㉓鯖江のがんばる事業者応援給付金	10 万円または 5 万円
	㉔小売・サービス業者による事業強化支援補助金	上限 10 万円 (1/4)
	㉕小規模事業者感染拡大防止対策事業補助金	上限 10 万円 (4/5)
	㉖新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地場産品販売応援事業補助金	上限 30 万円 (3/4)
	㉗新型コロナウイルス感染防止グッズ商品化支援補助金	上限 30 万円 (3/4)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(2) 補助実績額 (令和2年度)

制度名	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	件数	補助額(千円)	件数	補助額(千円)	件数	補助額(千円)
①産地リーダー企業販路開拓支援	4	15,250	3	5,600	-	※-
②海外市場販路開拓支援	12	5,298	4	986	-	※-
③異分野見本市等出展支援	5	2,301	3	1,451	-	※-
④地域産業販路拡大支援	0	0	0	0	-	【廃止】-
⑤市場調査支援	0	0	1	50	-	※-
⑥ふるさと企業の展示会出展支援	-	-	-	-	17	2,872
⑦地域産業人材育成支援	14	642	14	704	10	259
⑧女性活躍推進事業補助金	-	-	4	1,905	-	【廃止】-
⑨未来の伝統工芸士育成支援事業補助金	-	-	-	-	1	300
⑩未来の伝統工芸士育成支援事業奨励金	-	-	-	-	1	200
⑪起業・創業促進支援	0	0	0	0	0	0
⑫起業(IT等)市内定着促進	1	309	1	45	1	272
⑬創業スタートアップ支援	5	1,000	4	621	2	400
⑭小規模製造業設備投資	3	1,260	12	4,357	4	1,995
⑮女性起業応援事業奨励金	-	-	-	-	4	200
⑯産学官連携促進支援	0	0	0	0	0	0
⑰成長分野新技術開発支援	2	9,733	0	0	-	【廃止】-
⑱チャレンジ企業応援(新製品・新技術開発)	2	3,777	5	8,853	-	※-
⑲チャレンジ企業応援(新事業創出・業種転換)	0	0	0	0	-	※-
⑳チャレンジ企業応援(知的財産権取得)	5	280	7	467	12	773
㉑眼鏡産直ショップ開設促進	1	2,000	1	1,000	-	※-
㉒めがねのまちさばえ応援商品開発支援事業補助金	3	451	3	339	2	281
㉓鯖江のがんぼる事業者応援給付金	-	-	-	-	3,858	260,800
㉔小売・サービス業者による事業強化支援補助金	-	-	-	-	166	14,884
㉕小規模事業者感染拡大防止対策事業補助金	-	-	-	-	75	5,266
㉖新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地域産品販売応援事業補助金	-	-	-	-	10	4,538
㉗新型コロナウイルス感染防止グッズ商品化支援補助金	-	-	-	-	30	7,825
計	57	42,301	62	26,378	4,193	300,865

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

7 企業誘致

(1) 企業立地助成金制度

①用地取得助成金

工場等を建設するために必要な用地の取得および土地の造成にかかった費用の助成
(補助率15%~30% 限度額1億円)

②工場等建設促進助成金

工場等および設備(償却資産)にかかる固定資産税額分の助成(補助期間 2年間)

③空き工場等活用助成金

空き工場および設備(償却資産)にかかる固定資産税額分の助成(補助期間 2年間)

④環境整備助成金

工場等の建設に併せて、環境保全施設または防災保安施設の整備を行った費用の助成
(補助率30% 限度額500万円~1,000万円)

⑤雇用促進奨励金

新たに操業した工場において、新規雇用で鯖江市民を1年以上雇用した場合の助成
(鯖江市民操業初年度雇用1人につき20万円、操業次年度雇用1人につき10万円)

⑥借地借家助成金

工場等の建設に必要な用地および工場等の賃借料の助成(補助率1/2 限度額300万円)

⑦IT企業誘致促進事業補助金

新たに市内に進出するIT企業の事業所整備等を補助する(補助期間 3年間)

種別	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	件数	助成額(千円)	件数	助成額(千円)	件数	助成額(千円)
用地取得助成金	1	26,400	2	47,675	3	49,129
工場等建設促進助成金	5	8,223	4	9,303	6	11,171
空き工場等活用助成金	0	0	0	0	0	0
環境整備助成金	0	0	0	0	0	0
雇用促進奨励金	4	1,400	5	1,700	6	4,300
借地借家助成金	0	0	0	0	0	0
IT企業誘致促進事業	1	6,100	1	852	2	1,062
計	11	42,123	12	59,530	17	65,662

8 観 光

(1) 観光客入込状況

(福井県観光客数動態推計) (人)

年	種別	総観光客数		地域別		日程別	
		人員	対県比(%)	県内	県外	日帰り	宿泊
H22		1,153,500	4.55	801,800	351,700	1,085,800	67,700
H23		1,388,000	6.01	974,000	414,000	1,294,000	94,000
H24		1,148,000	5.00	789,000	359,000	1,053,000	95,000
H25		1,194,000	4.90	818,000	376,000	1,101,000	93,000
H26		1,648,000	6.27	1,125,000	523,000	1,534,000	114,000
H27		1,820,000	6.07	1,243,000	577,000	1,703,000	117,000
H28		1,842,000	5.81	1,280,000	562,000	1,702,000	140,000
H29		1,776,000	5.73	1,219,000	557,000	1,645,000	131,000
H30		1,852,000	5.70	1,205,000	647,000	1,663,000	189,000
R1		1,775,000	5.09	1,164,000	611,000	1,649,000	126,000
R2		993,000	4.55	640,000	353,000	923,000	70,000

(2) さばえつつじまつり来場者数

(人)

年度	総数	西山公園	にぎわい横丁	期間
H22	284,000	203,000	81,000	5/3~5/5
H23	236,000	150,000	86,000	5/3~5/5
H24	342,000	300,000	42,000	5/1~5/13
H25	176,000	110,000	66,000	5/3~5/4
H26	177,000	114,000	63,000	5/3~5/4
H27	199,000	170,000	29,000	5/3~5/5
H28	207,000	207,000		5/3~5/5
H29	202,000	202,000		5/3~5/5
H30	188,000	188,000		5/3~5/5
R1	162,000	162,000		5/3~5/5
R2※中止	-	-		-

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(3) 福井県主要観光地入込状況

(千人)

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年度	令和2年度
一乗谷朝倉氏遺跡	901	803	722	1,057	851
芝政ワールド	526	504	483	442	207
東尋坊	1,441	1,344	1,354	1,414	676
大本山永平寺	562	526	492	522	264
レインボーライン	304	286	282	371	378
恐竜博物館・かつやま恐竜の森	1,107	1,023	1,128	1,259	531
西山公園	1,061	966	949	899	427

9 公共交通

(1) 福鉄電車福武線乗降客数

(福井鉄道株) (人)

年度	サンドーム西駅	西鯖江駅	西山公園駅	水落駅	神明駅	鳥羽中駅	鯖江市計
H28	33,738	125,309	12,608	62,326	240,149	28,437	502,567
H29	30,772	114,450	9,386	70,715	217,829	32,628	475,780
H30	29,725	110,544	9,901	68,333	221,181	34,765	474,449
R1	27,521	104,591	8,770	64,219	224,635	34,046	463,782
R2	26,227	74,397	5,222	50,574	194,932	21,597	372,949

(2) JR西日本1日平均乗降客数

(人)

年度	駅名	鯖江駅			武生駅		
		総数	普通	定期	総数	普通	定期
H25		4,052	1,484	2,568	4,664	1,898	2,766
H26		4,028	1,578	2,450	4,578	1,892	2,686
H27		4,222	1,662	2,560	4,656	1,938	2,718
H28		4,526	1,808	2,718	4,688	1,950	2,738
H29		4,566	1,816	2,750	4,742	1,964	2,778
H30		4,698	1,876	2,822	4,850	1,998	2,854
R1		4,626	1,824	2,802	4,660	1,896	2,764
R2		2,876	704	2,172	2,870	828	2,042

(3) コミュニティバス路線別利用者数

(人)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
中央線(循環線)	50,863	52,237	54,092	33,988	42,815	43,073	32,995
幹線	—	—	—	12,935	10,109	10,844	7,366
鯖江南・新横江線	4,015	4,097	3,832	3,361	4,078	3,820	1,784
神明線	13,831	12,351	9,954	6,512	7,960	7,655	5,980
片上・北中山線	12,129	11,970	11,085	8,047	8,113	8,035	6,059
立待線	13,298	12,711	13,135	9,594	8,266	8,315	6,065
吉川線	17,926	16,531	16,183	11,357	11,269	11,024	8,693
豊線	14,021	14,372	13,764	10,647	10,685	8,317	6,642
中河・北中山線	8,872	9,323	10,168	5,342	6,113	5,270	3,428
河和田線	46,021	46,821	44,426	25,348	25,130	23,216	16,464
丹南高校線 (通学便7路線)	6,288	6,758	6,444	9,845	9,041	7,664	5,705
歴史の道線	1,057	13	—	—	—	—	—
計	188,321	187,184	183,083	136,976	143,579	137,233	101,181

(4) 福井鉄道(鯖江市内運行)バス路線

1. 福浦線(起点:田原町 終点:かれい崎)
2. 鯖浦線(起点:神明駅 終点:織田)
(起点:神明駅 終点:かれい崎)

(5) 自動車保有車両数(R3.3末)

(中部運輸局 福井運輸支局)

市町別	検査車両数			合計	世帯比		人口比	
	登録車数	小型二輪車数	軽自動車数		世帯数	一世帯当たり台数	人口	一両当たり人口
鯖江市	29,581	751	24,680	55,012	24,359	2.3	68,597	1.2
福井市	135,032	2,591	86,854	224,477	105,012	2.1	259,557	1.2
越前市	37,854	896	30,417	69,167	30,047	2.3	80,217	1.2

10 所管施設利用者

(人)

	ふれあいみんなの館・さばえ	地域交流センター (市民ホールつつじ)	うるしの里会館	ラポーゼかわだ
	平成 11 年 4 月 開館	平成 17 年 10 月 開館	平成 17 年 4 月 リニューアル	令和元年 12 月 リニューアル
平成 21 年度	20,073	63,294 (40,934)	101,628	138,304
平成 22 年度	21,034	63,038 (42,659)	99,225	121,841
平成 23 年度	20,195	63,993 (44,870)	102,072	119,263
平成 24 年度	19,678	59,620 (43,392)	98,737	116,042
平成 25 年度	18,507	60,006 (44,420)	109,083	147,178
平成 26 年度	18,310	54,440 (42,074)	103,629	153,202
平成 27 年度	19,084	52,573 (39,800)	103,087	146,638
平成 28 年度	18,295	52,321 (41,820)	97,914	142,075
平成 29 年度	19,735	58,264 (46,536)	98,106	127,342
平成 30 年度	20,194	58,991 (48,764)	90,766	108,897
令和元年度	19,449	58,312 (49,945)	87,720	111,995
令和2年度	10,125	25,745 (22,997)	50,440	63,036

※地域交流センターの()内は入浴者数

— 商工業・労働・観光・交通の概要 —

令和3年8月

問合せ先：鯖江市産業環境部商工観光課

〒916-8666 福井県鯖江市西山町13-1

TEL : 0778-51-2200 (代)

FAX : 0778-51-8153

URL : <https://www.city.sabae.fukui.jp/>

E-Mail: SC-Shoko@city.sabae.lg.jp